



小上がりの和室だった部分の柱を抜いて梁補強をし、格天井を美しい状態で残した、大空間のLDK。床を巾広の無垢オークにし、製作のダイニングテーブルには、オークの色合いに合う奥さまの着物の帯をテーブルライナーにしている。北欧の名作照明のPH50、Yチェアをインテリアのポイントに。ウッドデッキを設置して、リビングと一体的に広々と使えるようにし、庭もより楽しめるようにした。

古の数寄屋を 現代の北欧モダンに

主なインテリアエレメント【リビング】床：マルホン 無垢オーク巾広200 / 壁：漆喰、LIXIL エコカラット / 天井：檜格天井、トキワ クロス / 製作ダイニングテーブル、製作テレビボード、製作書斎カウンター、製作キッチンカウンター：全て無垢オーク材 / 製作ソファ 【キッチン】床：ダイケン バリアフロア / 壁：漆喰、トキワ クロス、LIXIL エコカラット / 天井：トキワ クロス【客間】床：畳 / 壁：左官 / 天井：杉 / 横：町屋横 燗燗



神代杉の床がある玄関は、風流な数寄屋心を忘れずに、季節の花や小物を飾って愉しむ。



数寄屋の心を忘れずに好きな生活スタイルへ

【クライアントの要望】

築33年の平屋のリフォーム。純和風数寄屋造りの量が多い空間を、良い部分は残しつつ、好みのモダンな住まいにしたい。
夫婦と2人の小学生の息子、4人での暮らしを快適なものにしたい。

【コンセプト】

重厚な無垢材などの良い素材を使った格天井や数寄屋の設えは残し、現代の家族が暮らしやすい北欧モダンテイストの住まいに。
小分けになっていた部屋を不要な柱を抜いて梁補強し、大空間のLDKにした。床は無垢オークにして快適かつ重厚感をプラス。客間の押入れはリビング側から回遊できるWICにし、片付けやすくした。
インテリアの素材・質感のバランスを絶妙に取りつつ空間をコーディネートし、間接照明で演出を加えた。

【コスト】

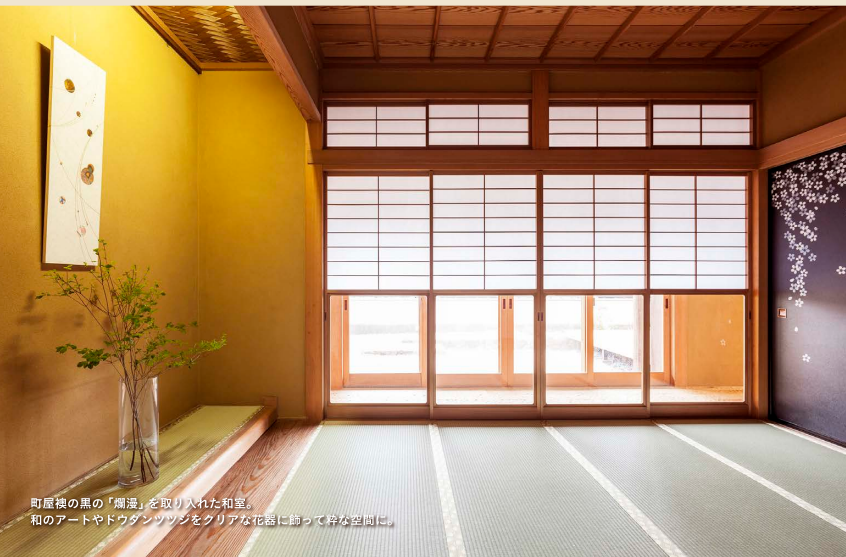
2,000万円



無垢オークで製作したダイニングテーブル・テレビボード・ローテーブル・飾り棚兼本棚と北欧の名作家具を数寄屋の格天井と漆喰の空間に調和させた。
光沢のあるオーダーソファとクッションの生地は、イーグルクリーニング機能がついてお手入れしやすく、クッションはリバーシブルで、その日の気分が変えられることができる。



格天井や欄間、書院を残したまま障子や換・畳をなくし、リゾート空間のような主寝室にした。
北欧の名作照明「ヤコブソンランプ」とウォールナットで製作したミニテーブルをコーディネートしている。



町屋横の黒の「燗燗」を取り入れた和室。
和のアートやドゥワングツツをクリアな花器に飾って粋な空間に。



製作飾り棚兼本棚の下に、
空気調和機を隠す格子を設け、すっきりとさせた。



坪庭を整え、竹垣で阿婆からの視線を遮るようにし、
気兼ねなく障子を掛けておけるようにした。



出廊下から、足触りのいい無垢のヨーロッパオークをスプーンカット加工した床に変えた広縁。
和室の板の間だったところをファミリーローゼットにし、町屋横の黒の「燗燗」で彩った。
家事がしやすい回遊動線となっている。